

情報可視化論

Final Task

[説明]

まず、画面は3分割されている。図1に示すように左から、ロブスターを表示する画面、現在の isovalue における色を表示している画面、そして UI 用の画面である。

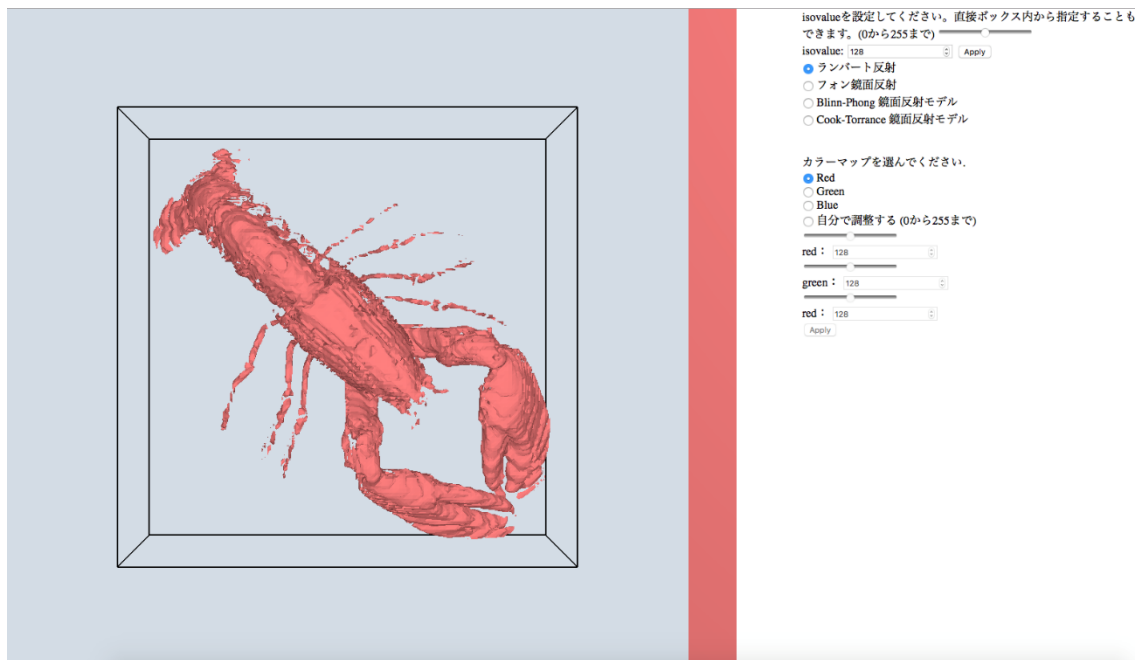


図 1. 全体図

プログラムでは isovalue のスライダーを動かすことで色を変更することができる。変更した色は真ん中の画面でリアルタイムに確認することができ、画面上部の **Apply** ボタンを押すことでロブスターデータに反映させることができる。また、isovalue の値は、下の数値を直接変更することでも更新させることができる。

さらに、デフォルトではランバート反射が選択されているが、これは他の反射を選択することで変更することが可能である。この変更時、反射の仕方は変わるが、ロブスターの色自体は現在のロブスターの色を引き継ぐので色を変更させたいときは、isovalue を変更し、**Apply** ボタンを押すことで変更が可能となる。

また、カラーマップは3種類から選択することができ、Red は白から赤に、

Green は白から緑に、Blue は白から青へ変わっていくものになっている。
さらに、他の色を調節したいときは「自分で調整する」ボタンを押し、
スライダーまたは、数値を直接変更することで調整が可能である。この変更を
適用するときは下部の **Apply** ボタンを押すことで決定することができる。自分
で調整した色も中央の画面で確認することができる。